

# 下地処理（研磨）

東日本塗料株式会社  
塗り床材 メールマガジン



# 研磨方法について

- 床塗装を行う上で、下地処理（研磨作業）は最も重要な工程です。
- 下地処理（研磨作業）を怠った為、不具合が発生しているケースが多くあります。
- 下地処理（研磨作業）を行う事で、不具合を未然に防止する事ができます。
- 今回のメールマガジンでは、より多く聞かれる質問事項についてご紹介致します。

# 代表的な研削機（強化コンクリートの研磨等）について



研削機  
（中～大面積）



ウルトラサンダー  
（小面積）

# 代表的な研磨機 (レイトンス除去等) について



ポリッシャー  
(中～大面積)



オービタルサンダー  
(小面積)

※その他：はがし機、ショットブラスト機、溝切機等があります。

# 下地処理機の適用範囲について①

下地	項目	研削機 ※1、※2	ウルトラサンダー ※1、※2	ポリッシャー	オセタルサンダー
新設コンクリート	レタンス除去	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (サンドペーパー-#60~80)	使用可能 (サンドペーパー-#60~80)
	汚れの除去	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (サンドペーパー-#60~80)	使用可能 (サンドペーパー-#60~80)
既設コンクリート	脆弱層の除去	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (ダイヤモンド)	使用不可	使用不可
	不陸の修正	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (ダイヤモンド)	使用不可	使用不可
	緻密なコンクリートの目荒し	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (ダイヤモンド)	プライマーの種類によっては使用可能 (サンドペーパー-#40~60)	使用可能 (サンドペーパー-#40~60)
	汚れの除去	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (サンドペーパー-#40~60)	使用可能 (サンドペーパー-#40~60)
	油汚れ面の処理	プライマーの種類によっては使用可能 (油をレキで取り除きダイヤモンドにて研削)	プライマーの種類によっては使用可能 (赤ハットを取り付け、オイルクリーナーにて洗浄)	使用不可	使用不可
	接着剤の除去	使用可能 (ダイヤモンド)	使用可能 (ダイヤモンド)	使用不可	使用不可

※1 薄膜塗料の場合は研磨痕が残る場合があります。

※2 クリヤー仕上げの場合、濡れ色が濃くなります。

◎ 下地の状態、仕上げ材の種類により仕上がりが異なりますので、ご注意下さい。



# 下地処理機の適用範囲について②

下地	項目	研削機 ※1、※2	ウルトラサンダー ※1、※2	ポリッシャー	オビタルサンダー
刷毛引き仕上げ コンクリート	凹凸の除去	使用可能 (ダイヤモンド)		使用不可	
強化コンクリート (カラ-コンクリート類)	目荒し	使用可能 (ダイヤモンド)		プライマーの種類によっては使用可能 (サンドペーパー-#60~80)	
	ワックス の除去	使用可能 (ダイヤモンド)		プライマーの種類 によっては使用可能 (黒、茶ハットを取り付け、 ワックス剥離剤にて除去)	使用不可
強化コンクリート (表面強化剤)	強化層 の除去	使用可能 (ダイヤモンド)		使用不可	
既存塗膜※3	目荒し	使用可能 (ダイヤモンド)		使用可能 (薄膜塗料を施工する場合は サンドペーパー-#180~240) (厚膜塗料を施工する場合は サンドペーパー-#60~80で研磨)	
	密着不良 の除去	使用可能 (ダイヤモンド)		使用不可	

※1 薄膜塗料の場合は研磨痕が残る場合があります。

※2 クリヤー仕上げの場合、濡れ色が濃くなります。

※3 ニート防滑の研磨方法につきましては、各営業所にお問い合わせ下さい。

◎ 下地の状態、仕上げ材の種類により仕上がりが異なりますので、ご注意下さい。



## その他

- 関心度が高まっている**石綿事前調査の義務化**につきましては、塗り床改修工事の現場も例外ではありません。古い既存塗膜、接着剤、モルタル補修材、塩ビタイル、ソフト巾木、充填剤等には石綿が含有している場合があります、発塵を伴う研磨作業時には、注意が必要です。
- 詳しくは、**厚生労働省の石綿ポータルサイト**等を参照し、ご確認ください。

